

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○音読に意欲的に取り組む児童が多い。 ▲漢字の書き取りが苦手な児童が多い。 ▲文章を読んで理解することに課題がある。	・様子や気持ちなどを表す語句の量を増やし、会話や文章の中で適切に使う力	・漢字の宿題を計画的に出し、間違いを確実に直させることで定着を図る。 ・説明文や物語文の学習を通して筆者の考えや要旨を捉える活動を取り入れる。	
社会	○気付いたことや調べたいことを考えられる児童が多い。 ▲資料をまとめる力に課題がある。	・分かったことから何が言えるかまとめたり、予想したりする力	・学習のまとめとして資料を新聞やスライドなどの様々な方法でまとめる機会を作る。	
算数	○算数の学習にすすんで取り組む児童が多い。 ▲乗法九九などの基礎となる四則演算が定着していない児童がいる。	・問題文から場面を想像し、見通しをもって問題解決する力	・チャレンジタイムや授業の冒頭で日常的に計算プリントに取り組むことで基礎計算力を高める。	
理科	○植物の栽培や昆虫の飼育を積極的に行い、継続して観察することに意欲的に取り組む児童が多い。 ▲観察して分かったことや気付いたことを、以前の記録と比較して考えたり、他の児童の観察カードと比べたりして深めていくことに課題がある。	・観察や実験などから分かったことを、比較して考えを深めていく力	・観察カードを教室に掲示して、いつでも振り返りができるようにする。 ・観察のポイントを示し、手本を黒板に掲示しながらスケッチしたり、まとめたりする力が見に付くようにする。	
音楽	○歌唱や器楽など様々な学習活動に意欲的に取り組むことができている。 ○友達の音楽表現のよいところを見つけことができる児童が多い。 ▲リコーダーの基本的な技能の定着に差がある。	・リコーダーの基本的な技能を身に付ける力	・リコーダーの活動の際に基本的な技能を確認する時間を毎時間設定するなど、基本的な技能に対する学習を反復・継続して行っていく。	
図工	○のびのびと楽しんで表現活動を行うことができる。 ○意欲的に作品に取り組むことができる。 ▲発想や技能面での躓きで作品を完成まで作れない児童がいる。	・自分の発想力に自信をもって、意欲的に作品に取り組む力	・導入で、道具の基本的な扱いについてスパイラルに反復して指導していく。 ・鑑賞の時間でお互いの作品を褒めあい、自己肯定感を高めていく。	
体育	○運動が好きで、意欲的に取り組む児童が多い。 ▲学び合いができる児童が少ない。 ▲自分で練習内容を工夫するなど自主的な活動が少ない。	・友達と関わり合いながら学び合いができる力 ・自ら課題を見つけ運動する力	・友達と関わり合う活動を多く取り入れる。 ・ICTを活用して、技能ポイントを明確にしたり、自身の技能を客観的に確認できるようにしたりする。	